

北西太平洋地域海行動計画（NOWPAP）

1 経緯

閉鎖性の高い国際海域の環境保全のため、国連環境計画(UNEP)が「地域海計画」と呼ばれる環境協力を世界の各地域で進めている。現在、全世界で14の地域海計画があるが、我が国の周辺海域については、日本海及び黄海を対象とする「北西太平洋地域海行動計画」(NOWPAP)が、1994年(平成6年)9月に韓国で開催された第1回政府間会合において、我が国、中国、韓国及びロシアの4カ国により採択され、その後の政府間会合において各種プロジェクトが決定されている。

1999年4月には、各プロジェクトの実施に責任を持ち、活動を推進していくとされている地域活動センター(RAC)の配置が決定され、我が国においては「特殊モニタリング・沿岸環境評価に関する地域活動センター」(CEA-RAC)として(財)環日本海環境協力センター(富山県在)が指定された。

また、2004年11月、我が国(富山市)と韓国(釜山)にNOWPAPの事務局である地域調整ユニット(RCU)が設置された。

2 NOWPAPのプロジェクト

- NOWPAP/ 1 対象海域の海洋環境に関するデータベースの構築
- NOWPAP/ 2 各国の海洋環境保全に関する法令等の内容の調査
- NOWPAP/ 3 対象海域の環境モニタリングプログラムの作成
- NOWPAP/ 4 海洋汚染事故(油汚染)への準備及び対応
- NOWPAP/ 5 各分野の活動の拠点となる地域活動センターの指定
- NOWPAP/ 6 海洋・沿岸環境に関する普及啓発
- NOWPAP/ 7 陸上起因の汚染に対する評価と管理

3 地域活動センター(RAC: Regional Activity Center)の配置状況

特殊モニタリング・沿岸環境評価に関する地域活動センター(CEA/RAC)

(財)環日本海環境協力センター(日本・富山)に設置

データ・情報ネットワークに関する地域活動センター(DIN/RAC)

国家環境保護総局 情報センター(中国・北京)に設置

汚染モニタリングに関する地域活動センター(POM/RAC)

科学アカデミー太平洋地理学研究所(ロシア・ウラジオストック)に設置

海洋環境緊急準備・対応に関する地域活動センター(MER/RAC)

海洋研究院 船舶海洋工学研究所(韓国・テジョン)に設置

4 海洋ごみに関するプロジェクト

2006, 2007年の事業計画において、海洋ゴミに関するプロジェクトを行うことが決定されている。具体的には、ワークショップ等の開催、ガイドラインの作成、モニタリング計画の作成、クリーンアップキャンペーンの実施等を内容としている。